

令和6年度年報

2025. 9

群馬県立土屋文明記念文学館

2024

目次

1 沿革	
(1)沿革	1
(2)令和6年度の主なできごと	2
2 施設概要	4
3 管理運営	
(1)組織及び職員	4
(2)利用者数	5
(3)歳入歳出(決算)の状況	6
(4)修繕	6
(5)備品	6
4 展示活動	
(1)常設展示	7
(2)企画展示	11
(3)移動展	14
(4)ミニ展示	17
(5)特別展示	17
5 教育普及活動	
(1)企画展記念講演会	18
(2)企画展関連行事	19
(3)土屋文明記念文学講座	20
(4)特別イベント	20
(5)群馬県文学賞 受賞記念講演会・受賞作品展.....	21
(6)文明先生推し活講座	22
(7)学校教育との連携	23
(8)地域との連携	25
(9)子ども向け事業	26
(10)ボランティア活動	27
(11)自主学習会	28
(12)広報活動	28
(13)刊行物の発行	31
6 資料収集・調査研究	
(1)資料収集	32
(2)資料の整理・保存管理	32
(3)資料貸出	33
7 利用案内・位置図	
(1)開館時間	34
(2)休館日	34
(3)観覧料	34
(4)施設利用料	34
(5)位置図	35

1 沿革

(1)沿革

1981(昭和56)年	10月	県内文学団体により近代文学館設立期成会議結成
1983(昭和58)年	4月	群馬県教育委員会が昭和58年度予算に文学館建設調査費計上
1985(昭和60)年	12月	近代文学資料等調査検討委員会(20名)を設置
1988(昭和63)年	2月	近代文学資料等調査員(12名)を設置
1990(平成2)年	12月	土屋文明死去(8日)
1991(平成3)年	4月	近代文学資料室を設置
同	7月	土屋文明遺族より群馬町に資料の寄付申込み
同	同	群馬県生涯学習センター内に土屋文明資料展示室設置
同	11月	群馬町から県に「土屋文明記念館」建設の陳情
1992(平成4)年	4月	群馬町に記念文学館建設調整室設置
1993(平成5)年	1月	建設推進委員会(9名)を設置
同	3月	文学館建設基本構想策定
同	4月	群馬県教育委員会文化振興課に建設準備係(5名)設置
1994(平成6)年	2月	都市計画公園事業の大臣認可
同	3月	建築実施設計
同	4月	文学資料整理作業室を県立図書館内に設置
同	12月	上毛野はにわの里公園占用許可
同	同	建築工事開始
1995(平成7)年	12月	建築工事終了
1996(平成8)年	2月	文学資料の移送搬入
同	3月	展示工事完了
同	4月	群馬県立土屋文明記念文学館設置及び管理に関する条例施行
同	同	群馬県立土屋文明記念文学館組織発足
同	7月	伊藤信吉館長就任(※空白期間は群馬県教育委員会事務局幹部職員が兼務)
同	同	開館(11日)
1998(平成10)年	5月	天皇皇后両陛下下行幸啓(8日)
1999(平成11)年	6月	博物館登録(3日)
同	8月	『群馬文学全集』全20巻刊行開始(～平成14年度)
2002(平成14)年	8月	伊藤信吉館長死去(3日)
2006(平成18)年	7月	開館10周年記念展「岸田衿子 野の花の道～北軽井沢より～」
同	10月	開館10周年記念展「萩原朔太郎・多田不二・岡田刀水士ー神秘主義の系譜ー」
同	12月	開館10周年記念展「ぐんま文学の森ー目で見える群馬の近代文学年表ー」
2008(平成20)年	8月	秋篠宮殿下、同妃殿下、眞子内親王行啓(7日)
2012(平成24)年	3月	入館者50万人達成
2016(平成28)年	10月	開館20周年記念展「角田柳作とドナルド・キーンー群馬から世界へー」
2020(令和2)年	4月	群馬県教育委員会から群馬県知事部局に移管
2021(令和3)年	7月	開館25周年記念展「宮沢賢治ーみんなのほんとうのさいわいをさがしにー」

(2)令和6年度の主なできごと

- 4 月 1 日 新年度開始 井田智則館長就任
- 4 月 13 日 第 122 回企画展「いちめんのなのはな－教科書で出会った詩人・山村暮鳥－」オープン
同 展示解説①
- 4 月 28 日 記念講演会「『風景』の授業」(加倉井東氏)
- 5 月 3 日 展示解説②
- 5 月 4 日 高崎市立高崎経済大学附属高等学校放送部による詩の朗読会
- 5 月 12 日 クラリネットとピアノによるロビーコンサート(神戸圭介氏、神戸道子氏)
- 5 月 15 日 高崎市立群馬南中学校の生徒が職場体験で来館(5 月 16 日も)
- 5 月 27 日 渋川市立渋川北小学校の児童が校外学習で来館
- 6 月 1 日 新島学園中学校・高等学校聖歌隊によるコンサート
- 6 月 2 日 展示解説③
- 6 月 5 日 高崎市立車郷小学校の児童が校外学習で来館
- 6 月 8 日 國學院大學の学生が展示観覧で来館
- 6 月 9 日 第 122 回企画展「いちめんのなのはな－教科書で出会った詩人・山村暮鳥－」クローズ
- 6 月 17 日 燻蒸(書庫・収蔵庫)休館(6 月 25 日まで)
- 7 月 3 日 群馬県立高崎高等学校の生徒が進路学習で来館
- 7 月 6 日 第 123 回企画展「ふしぎ駄菓子屋 銭天堂へようこそ」オープン
同 展示解説①
同 高崎北部三館連携協議会三館スタンプラリー開始(8 月 23 日まで)
- 7 月 11 日 高崎市立上郊小学校の児童が校外学習で来館(7 月 12 日も)
- 7 月 28 日 ワークショップ「万華鏡をつくろう」
- 8 月 2 日 展示解説②
- 8 月 3 日 スイーツ配布イベント(協力:明和県央高等学校QOL部)
- 8 月 7 日 中央情報経理専門学校の学生が展示観覧で来館
- 8 月 18 日 おはなしの会①(たこさんのおはなしや/EBA の会)
- 8 月 19 日 「ふしぎ駄菓子屋 銭天堂へようこそ」観覧者 1 万人達成セレモニー
- 8 月 24 日 アニメ上映会「ふしぎ駄菓子屋 銭天堂」(第1話～第10話)
- 9 月 1 日 展示解説③
- 9 月 4 日 高崎市立堤ヶ岡小学校の児童が校外学習で来館
- 9 月 12 日 群馬県立赤城特別支援学校の生徒がリモート展示観覧
- 9 月 14 日 記念講演会「路地裏のファンタジー－『駄菓子屋』という異空間－」(森下みさ子氏)
- 9 月 21 日 銭天堂オリジナルグッズプレゼントキャンペーン開始(9 月 30 日まで)
- 9 月 29 日 銭天堂展観覧者へ駄菓子プレゼント(9 月 30 日も)
- 9 月 30 日 第 123 回企画展「ふしぎ駄菓子屋 銭天堂へようこそ」クローズ

※観覧者数 19,378 名を記録し歴代 1 位となる

- 10 月 5 日 第 5 回土屋文明記念文学講座「鷗外と漱石の接点」(中島国彦氏)
- 10 月 11 日 ミュージアムショップの会主催 新・保渡田 2000 番地コンサート「ソプラノとピアノの癒やしのひと時」
- 10 月 19 日 第 124 回企画展「文豪・谷崎潤一郎－美を追い求めて」オープン
- 同 展示解説①
- 同 おはなしの会②(ヨボ読ボの会／六郷よみきかせの会)
- 10 月 27 日 茶席体験①
- 10 月 28 日 おはなしの会③(群馬県紙芝居研究会／北部小おはなしの会)
- 11 月 2 日 記念講演会①「文化の遠近法 谷崎潤一郎の美学における越境性」(グレゴリー・ケズナジャット氏)
- 11 月 8 日 高崎市立上郊小学校の児童が施設見学で来館
- 11 月 17 日 茶席体験②
- 11 月 24 日 記念講演会②「谷崎潤一郎の文学 愛と美の万華鏡」(千葉俊二氏)
- 11 月 25 日 高崎市立中尾中学校の生徒が職場体験で来館(11 月 27 日も)
- 11 月 27 日 ミニ展示「追悼 谷川俊太郎」オープン(12 月 15 日まで)
- 11 月 28 日 高崎市立群馬中央中学校の生徒が職場体験で来館(11 月 29 日も)
- 11 月 30 日 展示解説②
- 12 月 8 日 高崎市文化協会群馬支部主催 第 34 回暮鳥・文明まつり
- 12 月 11 日 群馬県立高崎東高等学校の生徒がインターンシップで来館(12 月 12 日も)
- 12 月 15 日 高校生による箏曲コンサート(東京農業大学第二高等学校箏曲部)
- 12 月 22 日 茶席体験③
- 同 展示解説③
- 1 月 13 日 ワークショップ「からくり屏風をつくろう」(協力:群馬県職業能力開発協会)
- 1 月 19 日 茶席体験④
- 1 月 22 日 群馬県高等学校教育研究会国語部会主催 第 61 回群馬県高等学校作文コンクール表彰式
- 1 月 25 日 高崎経済大学の学生が施設見学で来館
- 1 月 26 日 第 124 回企画展「文豪・谷崎潤一郎－美を追い求めて」クローズ
- 同 展示解説④
- 2 月 8 日 新収蔵資料展オープン
- 同 ミニ展示「第 62 回群馬県文学賞受賞作品」オープン(3 月 16 日まで)
- 2 月 23 日 第 62 回群馬県文学賞受賞記念講演会
- 3 月 16 日 文明先生推し活講座「土屋文明ってどんな人?」(小笠原祐治特別館長)ほか
- 同 新収蔵資料展クローズ
- 3 月 20 日 第 6 回土屋文明記念文学講座「パンクと短歌の距離」(町田康氏)
- 3 月 31 日 常設展示室入口に土屋文明略年譜と相関図を新たに設置

2 施設概要

(1)設置の目的

土屋文明の業績を記念し、文学に関する県民の理解を深め、もって教育、学術及び文化の発展に寄与する。

(2)設立

- ・平成8年7月11日開館
- ・平成11年6月3日博物館登録

(3)所在地

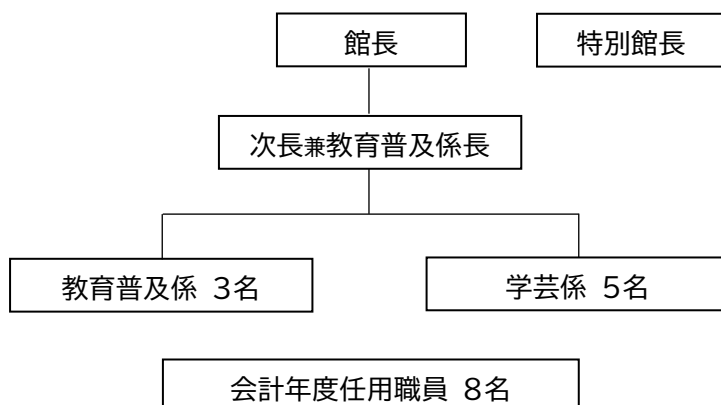
群馬県高崎市保渡田町 2000 番地(上毛野はにわの里公園内)

(4)設備等

- ・用地面積 2,465.61 m²
- ・建物構造 鉄筋コンクリート造り2階建て
- ・建物面積 延床面積 3,171 m²
- ・主要施設 常設展示室(396.8 m²)、企画展示室(279.5 m²)、映像展示室(65.9 m²)
閲覧室(62.1 m²)、研修室(289.1 m²)、創作室(和室)(43.6 m²)
収蔵庫(152.2 m²)、書庫(222.3 m²)、レストラン、ミュージアムショップ
- ・建設費 約27億円
- ・駐車場 普通車50台、大型バス5台、身障者用2台

3 管理運営

(1)組織及び職員



(2)利用者数

① 入館者数・館外事業参加者数

区分	有料観覧者								無料観覧者						観覧者計 A	教育普及事業			A+B+C	その他施設利用 D	計 A+B+C+D
	一般（個人）		大高（個人）		一般 （団体）	大高 （団体）	共通 バス	小計	中学 以下	障害者	減免	引率 介護	招待	小計		館 内 B	館 外 C	計			
	通常	割引	通常	割引																	
年間開館日数 269日間	10,062	678	463	1	102	28	187	11,521	8,678	878	955	764	1,611	12,886	24,407	3,082	15,873	18,955	43,362	4,524	47,886

<企画展>観覧者に常設展(新収蔵資料展含む)のみの観覧者は含まない

区分	有料観覧者								無料観覧者							観覧者計	教育普及事業企画展関連
	一般（個人）		大高（個人）		一般 （団体）	大高 （団体）	共通 バス	小計	中学以下	障害者	減免	引率 介護	招待	小計			
	通常	割引	通常	割引													
第122回企画展 いちめんのなのはな －教科書で出会った 詩人・山村暮鳥－ 4/13～6/9 50日間	509	73	24	0	79	28	34	747	71	71	76	55	285	558	1,305	278	
第123回企画展 ふしぎ駄菓子屋 銭天 堂へようこそ 7/6～9/30 76日間	7,618	376	295	1	0	0	90	8,380	8,692	675	91	628	912	10,998	19,378	187	
第124回企画展 文豪・谷崎潤一郎－ 美を追い求めて 10/19～R7.1/26 78日間	1,216	177	118	0	23	0	51	1,585	131	93	483	65	367	1,139	2,724	326	

② 閲覧室利用者

書庫資料閲覧		複写		調査相談件数			閲覧室利用者数
人数	冊数	件数	枚数	口頭	電話	文書	
16名	44冊	17件	205枚	7件	1件	1件	390名

③ レファレンス

レファレンス件数	うち土屋文明について
23件	15件

④ 貸室等利用者

企画展示室		研修室		和室		総計	
件数	利用者数	件数	利用者数	件数	利用者数	件数	利用者数
－	－	12件	924人	－	－	12件	924人

⑤ ホームページアクセス数

年間アクセス件数	一日平均アクセス件数
3,790件 (R7.1/26～3/31)	59件

R6.4/1～R7.1/25 アクセス数不明

(3)歳入歳出(決算)の状況

(単位:千円)

区分	金額	内容
歳入	8,612	
観覧料	6,895	
施設使用料	837	レストラン、研修室等
施設使用光熱水費	338	レストラン
その他	542	書籍販売等
歳出	79,292	
管理運営	61,073	文学館の維持管理
資料展示	10,856	常設展示メンテナンス、企画展示
資料購入	501	
資料管理	5,134	資料保存、情報システム
教育普及活動	1,728	文学講座等教育普及事業

常勤職員の人件費は含まない。

(4)修繕

	修繕項目	工期
1	給水ポンプユニット更新工事	7月10日～11月29日
2	オイルサービスタンク修繕工事	7月24日～11月29日
3	正面入口床修繕工事	8月26日～9月30日
4	加圧シスターン修繕工事	8月26日～11月29日
5	曝気・調整ブロー更新工事	12月26日～3月31日

(5)備品

主な購入備品

	購入備品	個数
1	LED スポットライト	1

収集対象資料(図書・雑誌・特別資料等)については別記(6.(1)資料収集 参照)

4 展示活動

(1)常設展示

常設展示室では、歌人・土屋文明(1890－1990)の作品と生涯を紹介し、中央の「短歌の世界」コーナーでは、『万葉集』『古今和歌集』『新古今和歌集』をはじめとした貴重な資料や、『万葉集』時代から近代までの歌人たちの人形により和歌・短歌の世界に触れることができる。

① 土屋文明－その作品と生涯－

文明の作品と生涯をたどる6章で構成されている。

◇ 第1章 榛名山のふもとで育つー『アカネ』への投稿ー

土屋文明は、現在の高崎市保渡田町に生まれ、伯父夫妻に預けられて育ち、上郊尋常小学校から旧制高崎中学校に進学。蛇床子じゃしょうしの名で短歌を発表し同校の国漢教師・村上成之しげゆき へいぎよ(蛎魚)の紹介で、伊藤左千夫を頼って1909(明治42)年4月に上京した。

◇ 第2章 東京から長野へー短歌と小説と教職とー

上京した年の秋、文明は旧制第一高等学校に入学し、東京帝国大学哲学科に進学後は、山本有三、芥川龍之介、菊池寛などの若き文豪たちと交流し井出説太郎の名で小説も発表した。東京帝国大学を卒業後、1918(大正7)年、島木赤彦の推薦で諏訪高等女学校に赴任、教育者として長野県の諏訪・松本で6年の歳月を過ごした。その後、上京して、1925(大正14)年には第一歌集『ふゆくさ』を出版した。

◇ 第3章 歌壇の中樞に一写生、破調、「思想的抒情詩」ー

1930(昭和5)年3月、斎藤茂吉に代わり『アララギ』の編集発行人となり、選歌、校正、雑誌の発送、面会による歌稿の添削、歌評会の設定など精力的に会員を導いた。一方、工場や鉄道などの近代的風物を、極端な字余り、破調で表現するなどを試み、代表作の一つである第三歌集『山谷集』さんごくしゅうを出版する。

◇ 第4章 万葉集研究の継続ー自らの足で感じるー

万葉集研究は、『古今和歌集』を攻撃して『万葉集』を賞揚した正岡子規の流れを汲む短歌結社「アララギ」に引き継がれる重要テーマであり、文明は戦中から戦後にかけて万葉ゆかりの地をよく歩き、その成果は4,500首以上ある『万葉集』の全歌注釈である『万葉集私注』(全20巻、1949－1956 年)に結実した。

◇ 第5章 川戸への疎開ー敗戦と第二芸術論に抗してー

空襲で青山南町(現・東京都港区南青山)の家を焼失した文明は、1945(昭和20)年6月、吾妻郡原町

川戸(現・東吾妻町)に疎開した。敗戦後の虚無感や、俳句・短歌を芸術以下の「第二芸術」と貶める論調に抗し、短歌や言葉の重要性を擁護する力強い作品を生み出す。自給自足の生活を送りながら、川戸を起点として『アララギ』の復興、地方アララギ誌の創刊などに力を注いだ。

◇ 第6章 東京南青山での日々ー歌壇の最長老にー

1951(昭和26)年11月、疎開地から南青山に戻ってきた文明は、1953(昭和28)年に宮中歌会始の選者となり、『万葉集私注』で芸術院賞を受賞。晩年まで、作歌はもちろん『アララギ』や新聞の選歌にも力を注ぎ、96歳で文化勲章を受章、1990(平成2)年、満100歳で歌に捧げたその生涯を閉じた。

☆ 移築書斎

新居の設計は弟子の歌人で清水建設の設計技師であった近藤芳美が行った。引戸がついた書棚や辞典類を広げるための出窓があり、隣接するサンルームから橙や方竹、川戸の山から移し植えた木などがある庭への出入りが可能であった。当館常設展示室内には、移築した書斎とサンルームが、外光を取り込む形で復元されている。

☆ ^{ほうちく}方竹の庭

移築書斎の窓の外には、南青山の文明旧宅から24種43本の樹木が当時の配置を参考にして移植され、文明の長女・草子^{かやこ}がこれを「方竹の庭」と名付けた。方竹とは、四角に近い断面を持つ竹、シホウチクのことである。

② 「短歌の世界」コーナー

常設展示室中央部には、伝世尊寺定成筆『新古今和歌集 上』写本(鎌倉時代)をはじめ三大歌集(『万葉集』、『古今和歌集』、『新古今和歌集』)から現代短歌に至るまでの貴重な資料を展示している。

それらを取り囲む柱に、中学校、高校の教科書をベースにして当館が独自に選んだ36人の歌人の人形が埋め込まれ、それぞれ1首ずつの短歌を紹介している。

【資料点数】

200点

(①第1章15点、第2章29点、第3章26点、第4章24点、第5章29点、第6章26点、②51点)

※陶板画、書斎の遺品は含まず。

③ 映像展示室

1階ロビーの映像展示室では、5つのテーマから選んで映像を見ることができる。

- ・「万葉集 東歌紀行」(約 8 分)
- ・「土屋文明 ひととなり」(約 11 分)
- ・「短歌の世界 詠み継がれる歌ごころ」(約 11 分)
- ・「^{いのち}生命の讃歌－山村暮鳥・その詩と生涯－」(約 24 分)
- ・「ぶらり散策－文明と暮鳥－」(約 13 分)

また、映像展示室を企画展に合わせた映像資料上映に使用した。

企画展名	内容等
「いちめんのなのはな－教科書で出会った詩人・山村暮鳥－」	「 ^{いのち} 生命の讃歌－山村暮鳥・その詩と生涯－」
「ふしぎ駄菓子屋 銭天堂へようこそ」	DVD「ふしぎ駄菓子屋 銭天堂」(日本コロムビア株式会社)より第53話「紅子、旅に出る」
「文豪・谷崎潤一郎－美を追いかけて」	DVD「新潮社文庫アニメ文学館⑤風立ちぬ・春琴抄」(日本アニメーション株式会社)より「春琴抄」

④ 映像モニターの設置

常設展示室前に映像モニターを設置し、「3分でわかる！土屋文明」「こんなにすごい！土屋文明」を常時上映した。

⑤ 木製看板の設置

常設展示室前に木製看板を設置し、移動展「歌人 土屋文明」を紹介した。

⑥ 新収蔵資料展

テーマ展示に代わって開催。企画展示室の一室を使って紹介した。

◇ 期間：令和 7 年 2 月 8 日(土)～3 月 16 日(日)（開催日数 32 日）

◇ 趣旨・内容

近年、当館に新たに収蔵された資料の一部を展示・紹介した。群馬ペンクラブや群馬県歌人クラブの会長を務めた原一雄氏(1912-2007)旧蔵資料を中心に、土屋文明、斎藤茂吉らアララギ関連の自筆資料や、短歌幅、画幅、色紙など、多彩な資料をご覧いただいた。

◇ 展示構成

- ・歌人 土屋文明
- ・近代の歌人たち
- ・作家たちのまなざし

◇ 展示資料点数：約 30 点

◇ 主な展示資料

- ・土屋文明オーバーコート、表札
- ・土屋文明短歌幅「すぎし人々」
- ・土屋文明短歌額「熊野中辺路」
- ・土屋文明原稿「編輯所便」
- ・正岡子規遺墨幅「融通 弘徽殿」
- ・狩野探幽画幅「雪舟筆蘆雁図模写」
- ・松尾芭蕉俳画幅「まつ茸や」
- ・斎藤茂吉歌稿幅「海濤12首」
- ・島木赤彦短歌幅「汽車の中に」



(2)企画展示

① 第122回企画展「いちめんのなのはな－教科書で出会った詩人・山村暮鳥－」

◇ 期間:令和6年4月13日(土)～6月9日(日) (開催日数50日)

◇ 趣旨・内容

群馬県で生まれ育った詩人・山村暮鳥は、純粋な心で、自然や人間への限りない愛を表現した作品を数多く生み出した。暮鳥の詩は教科書に長年にわたり掲載され、現代に生きる私たちにも自然の美しさや人間の尊さを教えてくれる。

生誕140年記念となる本展では、「風景 純銀もざいく」「雲」など、教科書に掲載されてきた作品をはじめ、自然と人間を愛した暮鳥の詩を紹介した。

◇ 展示構成

- I. 詩人・山村暮鳥の誕生
- II. 暮鳥が見つめた自然と人間
- III. 教科書で味わう山村暮鳥

◇ 展示資料点数:約130点

◇ 主な展示資料

- ・山村暮鳥著『聖三稜玻璃』特装版
- ・山村暮鳥著『風は草木にささやいた』
- ・山村暮鳥著『雲』
- ・山村暮鳥著『雲』仮製本(茨城県立歴史館蔵)
- ・「堤ヶ岡小学校 職員履歴書」(高崎市立堤ヶ岡小学校蔵)
- ・山村暮鳥詩稿「一日のはじめに於て」(暮鳥会資料)
- ・山村暮鳥詩稿「春の河」(暮鳥会資料)
- ・山村暮鳥詩稿「雲」(暮鳥会資料)
- ・山村暮鳥詩稿「りんご」
- ・『ひろがる言葉 小学国語 六上』
- ・『新版 中学国語 2年』(前橋市総合教育プラザ教育資料館蔵)



② 第123回企画展「ふしぎ駄菓子屋 銭天堂へようこそ」

◇ 期間:令和6年7月6日(土)~9月30日(月) (開催日数 76日)

◇ 趣旨・内容

「ふしぎ駄菓子屋 銭天堂」(偕成社)は、平成25年5月から刊行された、廣嶋玲子 作、jyajya 絵による人気児童小説シリーズである。幸運な人だけがたどりつける、ふしぎな駄菓子屋。そこにはたくさんの魅惑の駄菓子が並ぶ。店主・紅子がすすめる駄菓子は、どれもその人にぴったりのもの。でも食べ方や使い方を間違えると……。はたしてその駄菓子は幸運を呼ぶか？ はたまた不幸をまねくか…？

本展では、作者インタビューや表紙イラストなどの展示の外、多彩なディスプレイで作品の舞台を再現。また、グッズショップを特設し、スタンプラリーを毎日開催するなど、子どもから大人まで楽しめる企画を実施した。

◇ 展示構成

- ・銭天堂の再現舞台
- ・廣嶋玲子・jyajya インタビュー
- ・「ふしぎ駄菓子」ランキング
- ・jyajya ラフスケッチ
- ・たたりめ堂の再現舞台
- ・kulmin 切り絵「ふしぎ駄菓子屋 銭天堂へようこそ」名場面

◇ 展示資料点数:約 150 点

◇ 主な展示資料

- ・表紙イラスト
- ・銭天堂の再現舞台
- ・廣嶋玲子・jyajya インタビュー
- ・jyajya ラフスケッチ
- ・たたりめ堂の再現舞台
- ・kulmin 切り絵「ふしぎ駄菓子屋 銭天堂へようこそ」名場面
- ・「ふしぎ駄菓子」フィギュア



③ 第124回企画展「文豪・谷崎潤一郎－美を追い求めて」

◇ 期間：令和6年10月19日(土)～令和7年1月26日(日)（開催日数78日）

◇ 趣旨・内容

谷崎潤一郎は、「刺青」「痴人の愛」「春琴抄」「細雪」など数多くの作品を生み出し、最晩年まで自分の信じる「美」を追求し続けた。

本展では、その生涯や、代表的な作品、3回にわたって改訂された「潤一郎訳源氏物語」を紹介し、谷崎の追い求めた「美」に迫った。また、谷崎と群馬との繋がりについても取り上げた。

会期中、ゲーム「文豪とアルケミスト」とタイアップし、谷崎等の文豪パネルを展示した。

◇ 展示構成

I. 関東在住時の谷崎潤一郎

谷崎文学・美の源流

文壇デビュー

谷崎と群馬の関わり

II. 関西移住後の谷崎潤一郎

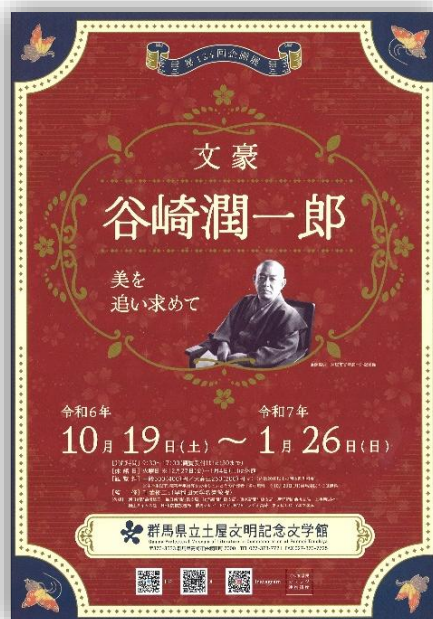
関東大震災後の関西移住

古典回帰と理想の女性松子

谷崎の「源氏物語」

「細雪」の完成

晩年



◇ 展示資料点数：約130点

◇ 主な展示資料

- ・谷崎潤一郎著『少年』（個人蔵）
- ・谷崎潤一郎著『細雪』上・中・下巻
- ・谷崎潤一郎著『潤一郎訳源氏物語』『潤一郎新訳源氏物語』『潤一郎新々訳源氏物語』
- ・「潤一郎訳源氏物語」校正書き込みあり旧訳本・タイプ原稿朱書き（國學院大學図書館蔵）
- ・谷崎潤一郎書簡 佐藤春夫宛 大正9年12月4日付（県立神奈川近代文学館蔵）
- ・谷崎潤一郎書簡 萩原朔太郎宛 大正11年5月1日付（萩原朔太郎記念・水と緑と詩のまち前橋文学館蔵）
- ・谷崎潤一郎書簡 渡辺千鶴子宛 昭和38年6月22日付（芦屋市谷崎潤一郎記念館蔵）

(3)移動展

当館の展示資料を利用して、市町村、市町村施設(図書館、公民館等)、大学、学校等が主催し、当館が共催して移動展を開催した。

① 展示内容一覧(資料点数)

展示名	展示内容	資料点数
A 夢みる女性誌	明治から昭和30年代までの女性誌の変遷を通じて、女性誌のあり方、求められた女性の生き方などを紹介。	・雑誌と付録 242 点 ・パネル、バナー A3～B5判 42 点
B ぐんま文学の森	群馬県は、詩・短歌・俳句・小説など、ジャンルを問わず優れた文学者が生まれ、育ち、生活した土地柄。また、多くの文学者が訪れて優れた作品を残した。本展では、明治から現代までの群馬ゆかりの文学者 100 余名を、書籍や雑誌等の資料とともに紹介。	・約 150 点
C 紙芝居	紙芝居は、昭和5年頃に「黄金バット」「鞍馬天狗」などの街頭紙芝居として登場した日本特有の文化財。本展では、紙芝居のルーツを辿り、街頭紙芝居から教育紙芝居、外国人向け紙芝居など様々な紙芝居とその歴史を紹介。	・約 100 点
D 群馬の詩人	群馬県は、多くの近代詩人を輩出した土地柄として全国に知られている。本展では、湯浅半月、萩原朔太郎、大手拓次、山村暮鳥、萩原恭次郎ら51人の詩人について紹介。	・約 100 点 ・51 人×2枚 ・パネル100cm×90 cm
E 山村暮鳥 真実に生きようとするもの	「いちめんのなのはな」のフレーズを繰り返す「風景 純銀もざい」や「雲」の詩などで知られる詩人・山村暮鳥(1884-1924)は、現在の群馬県高崎市に生まれた。病と貧困に苦しみながらも、真実に生きることを求め続けた山村暮鳥について紹介。	・約 120 点
F 詩人 大手拓次 孤独の箱のなかから	群馬県安中市磯部出身の大手拓次(1887-1934)は、大学時代、フランス象徴詩との出会いを経て自らの詩論を確立。その口語による象徴詩は北原白秋や萩原朔太郎から高く評価された。孤独に、そして一途に最上の詩を求め続けたその詩業を紹介。	・約 100 点
G 文学者の書一筆に込められた思い	文学者それぞれの書への向き合い方や、周囲からの評価などとともに、各人がしたための短歌・俳句等の作品や書簡などを紹介することで、文学者の書の魅力に多面的に迫る。	・約 90 点

H パネル いのちのえほん	平成13年に群馬県で開催された第16回国民文化祭の事業の1つとして詩画集『いのちのえほん』が発行された。特別支援学校に通う児童生徒が制作した絵画や立体作品に、松谷みよ子や永六輔ら著名人が詩やエッセイを寄せ、作品が収録された。本展では、これら全作品を印刷パネルにして紹介。	・パネル 122 点 ・パネルサイズ 22cm×60cm ・アルミ枠額装済
I パネル 童謡のふるさと 石原和三郎の世界	本展では、「うさぎとかめ」「はなさかじい」などの作詞で知られる勢多郡花輪村(現・みどり市)出身の石原和三郎を取り上げ、その多岐にわたる業績と生涯を豊富な写真と解説文(読みがな付)で紹介。	・B2パネル 19 点 ・アルミ枠額装済
J パネル 夭折の詩人 長澤延子 と中沢清	17歳と22歳という若さで亡くなった群馬県出身の2人の詩人、長澤延子(1932-1949)と中沢清(1932-1956)を取り上げる。昭和20年代に青春を過ごした2人は、それぞれ人生に真剣に向き合い、優れた詩を残した。本展では、2人の詩と人生を自筆資料(複製)を交えて紹介。	・B2パネル 12 点 ・アルミ枠額装済 ・原稿ノートの複製資料、約 30 点
K パネル 襄と八重の上州	「上毛かるた」でおなじみの新島襄(安中藩出身)とその妻・八重の群馬との関わりや、襄の精神を受け継いで各分野で活躍した人々(湯浅治郎、柏木義円、湯浅半月等)の業績を紹介。	・B2パネル 20 点 ・アルミ枠額装済
L パネル 文学者の書一筆に込め られた思い	文学者それぞれの書への向き合い方や、周囲からの評価などとともに、各人がしたための短歌・俳句等の作品や書簡などを紹介することで、文学者の書の魅力に多面的に迫る。	・B2パネル 25 点 ・アルミ枠額装済 ・紐付き
M パネル 現代歌人27人が選ぶ 土屋文明短歌	令和2年度に開催した土屋文明生誕130年没後30年記念展の特別企画として作成したもの。俵万智、永田和宏など現在活躍する27人の歌人が土屋文明の秀歌を選び解説する。	・短歌ポンジ 24 点 150cm×30 cm ・A1パネル 27 点 解説、プロフィール
N タペストリー ぐんま文学の森	群馬県は、詩・短歌・俳句・小説など、ジャンルを問わず優れた文学者が生まれ、育ち、生活した土地柄。また、多くの文学者が訪れて優れた作品を残した。本展では、明治から現代までの群馬ゆかりの文学者 100 余名を、書籍や雑誌等の資料とともに紹介。	・タペストリー17 点 180cm×60cm プロフィール
O パネル 群馬の詩人	群馬県は、多くの近代詩人を輩出した土地柄として全国に知られている。本展では、湯浅半月、萩原朔太郎、大手拓次、山村暮鳥、萩原恭次郎ら51人の詩人について紹介。	・パネル 51 点 100cm×90cm 詩作品、プロフィール

P パネル 歌人 土屋文明	歌人土屋文明について主な業績を中心に紹介。写真やイラストを多用した親しみやすいつくりになっている。	・B2パネル 6 点 ・アルミ枠額装済
Q パネル 怪談－こわい話に花が咲く	明治大正期を中心に文豪怪談を紹介。夏目漱石、小泉八雲、芥川龍之介、谷崎潤一郎、室生犀星、宮沢賢治らの怪談作品を一部抜粋したもの。	・パネル A3～A1、変型 約 40 点(25 作品)

※ H～Q のパネル展は、学校・図書館等の一般施設でも展示できるよう工夫した。壁面展示に最適

※ A・G・H・L～Q は分割展示可能

※ D はパネルのみの展示も可

② 開催実績

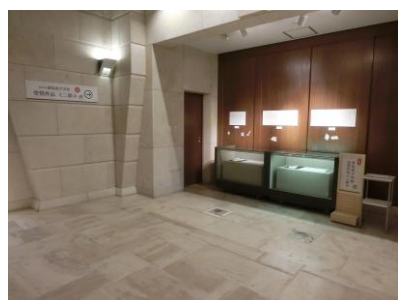
展示名	開催期間	展示会場(施設名)	入場者数
夢見る女性誌	5/1～6/25	渋川市徳富蘆花記念文学館	573名
いのちのえほん(パネル)	5/1～7/19	群馬県立盲学校	113名
怪談－こわい話に花が咲く(パネル)	6/3～7/19	前橋市立前橋高等学校	1,399名
ぐんま文学の森(タペストリー)	6/28～8/28	太田市学習文化センター	5,244名
夢見る女性誌	7/13～9/16	市川市文学ミュージアム	2,121名
群馬の詩人(パネル)	8/1～9/1	みどり市笠懸公民館	250名
襄と八重の上州(パネル)	8/3～10/14	山中湖文学の森 三島由紀夫文学館・徳富蘇峰館	1,001名
紙芝居	9/1～10/24	渋川市徳富蘆花記念文学館	689名
怪談－こわい話に花が咲く(パネル)	10/23～11/13	群馬県立嬬恋高等学校	50名
襄と八重の上州(パネル)	11/1～11/27	高崎市榛名図書館	2,355名
文学者の書－筆に込められた思い(パネル)	11/1～12/20	前橋市立前橋高等学校	1,424名
歌人 土屋文明(パネル)	12/10～12/18	桐生市立商業高等学校	7名
合計			15,226名

(4)ミニ展示

展示名	開催期間	内容	点数
追悼 谷川俊太郎	11/27～12/15	11月13日に逝去された谷川俊太郎氏の直筆原稿や第1詩集、写真パネル等を展示した。	5点
群馬県文学賞受賞作品展	2/8～3/16	令和6年度第62回群馬県文学賞受賞者5名の作品を展示した。	7点



追悼 谷川俊太郎



群馬県文学賞受賞作品展



(5)特別展示

本年度は開催なし。

5 教育普及活動

(1) 企画展記念講演会

企画展名	開催日	演題・講師	参加者数
第122回企画展 「いちめんのなのはな－教科書で出会った詩人・山村暮鳥－」	4/28(日)	「「風景」の授業」 加倉井東氏(暮鳥会会長)	63名
第123回企画展 「ふしぎ駄菓子屋 銭天堂へようこそ」	9/14(土)	「路地裏のファンタジー－「駄菓子屋」という異空間－」 森下みさ子氏(白百合女子大学教授)	34名
第124回企画展 「文豪・谷崎潤一郎－美を追い求めて」	11/2(土)	「文化の遠近法 谷崎潤一郎の美学における越境性」 グレゴリー・ケズナジャット氏(作家、法政大学准教授)	49名
	11/24(日)	「谷崎潤一郎の文学 愛と美の万華鏡」 千葉俊二氏(早稲田大学名誉教授)	105名
合計			251名



加倉井東氏(4/28)



グレゴリー・ケズナジャット氏(11/2)



千葉俊二氏(11/24)

(2)企画展関連行事

企画展名	開催日	行事・講師等	参加者数
第 122 回企画展 「いちめんのなのはな－教科書で出会った詩人・山村暮鳥－」	5/4(土・祝)	「高崎市立高崎経済大学附属高等学校放送部による詩の朗読会」 高崎市立高崎経済大学附属高等学校放送部	22名
	5/12(日)	クラリネットとピアノによるロビーコンサート 神戸圭介氏、神戸道子氏	50名
	6/1(土)	「新島学園中学校・高等学校聖歌隊によるコンサート」 新島学園中学校・高等学校聖歌隊	143名
第 123 回企画展 「ふしぎ駄菓子屋 銭天堂へようこそ」	7/28(日)	ワークショップ「万華鏡をつくろう」	17名
	8/3(土)	スイーツ配布イベント 協力:明和県央高等学校QOL部	100名
	8/24(土)	アニメ上映会「ふしぎ駄菓子屋 銭天堂」(第1話～第10話)	36名
第 124 回企画展 「文豪・谷崎潤一郎－美を追い求めて」	10/27(日)	茶席体験① 当館ティーサービスボランティア	29名
	11/17(日)	茶席体験② 当館ティーサービスボランティア	28名
	12/15(日)	「高校生による箏曲コンサート」 東京農業大学第二高等学校箏曲部	38名
	12/22(日)	茶席体験③ 当館ティーサービスボランティア	27名
	1/13(月・祝)	ワークショップ「からくり屏風をつくろう」 協力:群馬県職業能力開発協会	31名
	1/19(日)	茶席体験④ 当館ティーサービスボランティア	19名
合計			540名

(3)土屋文明記念文学講座

土屋文明の業績を記念し、短歌をはじめとする様々な文学をテーマに講演会を開催した。

回	開催日	講師	演題	参加者数
第5回	10/5 (土)	中島国彦氏 (早稲田大学名誉教授、日本近代文学館理事長)	「鷗外と漱石の接点」	66名
第6回	3/20 (木・祝)	町田康氏 (作家)	「パンクと短歌の距離」	160名
合計				226名



第5回 中島国彦氏(10/5)



第6回 町田康氏(3/20)

(4)特別イベント

本年度は開催なし。

(5)群馬県文学賞受賞記念講演会・受賞作品展

「群馬県文学賞」は、群馬県における文学活動の振興を図るため、1年間の文学各部門の創作活動の中から、特に優れた作品を選奨している。当館では受賞記念講演会と受賞作品のミニ展示を行った。

◇ 受賞記念講演会

令和6年度第62回群馬県文学賞受賞者5名のうち4名が下記のとおり講演した。

部門	受賞者	受賞作品・演題	開催日	参加者数
短歌	伊与久敏男氏	受賞作品「介護の日々」(30首) 演題「短歌は生きる証」	2/23 (日・祝)	65名
詩	石井一比庫氏	受賞作品「手、のほほんと、三月の最後の日に、チキンラーメン、春の公園にて」 演題「私の詩の書き方」		
小説	松井蒼馬氏	受賞作品「1面、降版します 特命記者の事件簿」 演題「群馬と創作」		
評論	神保喜利彦氏	受賞作品「東京漫才全史」 演題「 ^{ちず} 地図なき ^{やま} 山 ^ゆ を行く～研究苦労談～」		

◇ 受賞作品展

展示名	開催期間	内容	点数
第62回 群馬県文学賞受賞作品展	2/8～3/16	受賞者5名(俳句部門 小林あつ子氏受賞作品「初暦」(30句)を含む)の図書・作品パネルを展示した。	7点

(6)文明先生推し活講座

土屋文明の業績を広く周知し、ファンを増やすために開催し、文学の研究に当館を活用してもらうことを期待するもの。本年度は、県内大学生・高校生を対象に実施し、若い世代への周知を図るとともに、参加者からの情報発信を依頼した。

開催日	内容	参加者数
3/16(日)	講座「土屋文明ってどんな人？」(小笠原祐治特別館長) 常設展観覧 文明ゆかりの地めぐり	3名



(7)学校教育との連携

① 短歌教室

著名な歌人を招き、学校で短歌についての授業を行う事業。

令和6年度「歌人が学校に！～選歌と講評から学ぶ～」実施校

学校	講師	学年	開催日	参加者数
富岡市立小野小学校	笹公人氏	6 学年 1 学級	10/2(水)	29名
沼田市立多那小学校	笹公人氏	4 学年 1 学級 5 学年 1 学級 6 学年 1 学級	10/4(金)	15名
太田市立太田中学校	佐佐木頼綱氏	2 学年 3 学級	10/11(金)	102名
館林市立第九小学校	笹公人氏	6 学年 3 学級	10/25(金)	38名
太田市立北の杜学園	笹公人氏	6 学年 3 学級	10/31(木)	92名
高崎市立上郊小学校	笹公人氏	4 学年 2 学級 5 学年 2 学級	11/8(金)	105名
前橋市立白川小学校	佐佐木頼綱氏	6 学年 1 学級	11/14(木)	16名
太田市立休泊中学校	佐佐木頼綱氏	2 学年 4 学級	11/21(木)	113名
桐生市立新里中学校	笹公人氏	2 学年 4 学級	11/28(木)	137名
合計				647名

② 学校団体等の受入 ※引率者を除く

学校	内容	開催日	人数
高崎市立群馬南中学校(2学年)	職場体験	5/15(水)、16(木)	3名
渋川市立渋川北小学校(6学年)	常設展・企画展観覧、 短歌の授業	5/27(月)	53名
高崎市立車郷小学校(6学年)	企画展観覧、短歌・ 俳句の授業、詩碑見学	6/5(水)	15名
國學院大學	常設展・企画展観覧	6/8(土)	28名
群馬県立高崎高等学校(2学年)	進路学習	7/3(水)	7名
中央情報経理専門学校	常設展・企画展観覧	8/7(水)	6名
高崎市立堤ヶ岡小学校(4学年)	常設展・企画展観覧	9/4(水)	79名
群馬県立赤城特別支援学校(中学部)	企画展観覧(リモート)	9/12(木)	2名
高崎市立中尾中学校(2学年)	職場体験	11/25(月)、27(水)	4名
高崎市立群馬中央中学校(2学年)	職場体験	11/28(木)、29(金)	4名
群馬県立高崎東高等学校(1学年)	進路学習	12/11(水)、12(木)	4名
高崎経済大学	施設見学	1/25(土)	4名
合計			209名

③ 高崎市立上郊小学校との連携 ※引率者を除く

開催日	実施内容	学年	人数
7/11(木)	常設展・企画展観覧、短歌の授業を実施	4学年・ 特別支援学級	50名
7/12(金)	常設展・企画展観覧、短歌の授業を実施	5学年・ 特別支援学級	55名
11/8(金)	施設見学を実施	2学年・ 特別支援学級	52名
合計			157名

(8)地域との連携

① 高崎北部地区三館との連携

かみつけの里博物館(高崎市立)、日本絹の里(県立)と連携。「はにわとシルクと文学の高崎北ミュージアムトライアングル」として三館イベントカレンダーを作成しロビーに掲示、三館スタンプラリー、企画関係職員情報交換会などを実施した。

また、日本絹の里及び当館において、相互の観覧料2割引券を発行した。

◇ 三館スタンプラリー

7月6日～8月23日で実施。三館を観覧した方に景品として、三館の招待券及び各館オリジナルプレゼントを贈呈した。

◇ 三館連携協議会の開催状況

開催日	議題	会場
6/7(金)	・令和5年度事業報告 ・令和6年度事業計画案	当館
12/4(水)	・企画関係職員情報交換	かみつけの里博物館
2/20(木)	・令和6年度事業執行状況報告 ・令和7年度事業計画素案	日本絹の里

② 高崎市文化協会群馬支部との連携

イベント名及び開催日	内容等
暮鳥・文明まつり 12/8(日)	当館にて開催。本年度のテーマは「まつり」。 テーマに合わせた暮鳥の詩、文明の短歌を当館職員が選び、『入賞作品集』に解説を執筆。当日は当館において群馬県立土屋文明記念文学館長賞の授与及び挨拶を行った。

③ 地域のイベントへの参加

イベント名及び開催日	内容等
ぐんま「はにわの里」夏まつり 8/18(日)	企画展と「おはなしの会」の周知及び、ぬりえを実施。参加者には当館オリジナルシールを贈呈した。
かみつけの里古墳祭り 10/19(土)	企画展と「おはなしの会」の周知及び、ぬりえを実施。参加者には当館オリジナルシールを贈呈した。

(9)子ども向け事業

① 絵本のひろば

平成23(2011)年4月1日から絵本コーナーとして稼働し、平成24年度にこの名称となった。

1階ロビーに設置され、絵本に囲まれた空間で、靴をぬいで絵本を読むことができる。

第123回企画展「ふしぎ駄菓子屋 銭天堂へようこそ」会期中、『ふしぎ駄菓子屋 銭天堂』第1巻～第20巻を配置した。また、ミニ展示「追悼 谷川俊太郎」会期中、谷川氏の著書を配置した。

② 常設展関連

常設展を見学しながら答えるワークシート(クロスワードクイズ)を用意。参加者にはシールを贈呈した。

新収蔵資料展もワークシート(まちがいさがし)を用意。参加者にはコースターを贈呈した。

③ 企画展関連

企画展ごとにワークシートを用意。参加者にはしおりやポストカードを贈呈した。

企画展名	内容等
「いちめんのなのはな－教科書で出会った詩人・山村暮鳥－」	クロスワードクイズ、ビンゴ、ぬりえ等
「ふしぎ駄菓子屋 銭天堂へようこそ」	スタンプラリー、ふしぎ駄菓子を考えよう、駄菓子販売等
「文豪・谷崎潤一郎－美を追い求めて」	クロスワードクイズ、文豪とアルケミスト代表作さがし、ぬりえ等

(10)ボランティア活動

① 活動分野

- ・ミュージアムショップ…… ミュージアムショップの運営など
- ・ティーサービス……… 和室での抹茶や煎茶のサービス
- ・環境美化……… 清掃など
- ・広報……… 勤務先や近所などへの当館事業の広報、宣伝
- ・おはなしの会……… 当館が実施する文学に親しむためのイベント等において、紙芝居の上演や絵本の朗読などを行う

② ボランティア活動状況

◇ 登録者数154名(令和6年度末現在)

◇ 活動実績

活動分野	活動実績
ミュージアムショップ	毎月1回の定例会の開催、商品の棚卸し・整理をした。10/11、新・保渡田2000番地コンサート「ソプラノとピアノの癒やしのひと時」(三輪英、石渡由恭)を開催した(170名)。
ティーサービス	第124回企画展「文豪・谷崎潤一郎－美を追い求めて」会期中、茶席体験を実施した。10/27(29名)、11/17(28名)、12/22(27名)、1/19(19名)。
環境美化	駐車場等の草刈りを行った。
広報	企画展のチラシ等を配布して広報活動を行った。
おはなしの会	「おはなしの会」を行った。8/18 たこさんのおはなしや／EBAの会(75名)、10/19 ヨボ読ボの会／六郷よみきかせの会(8名)、10/28 群馬県紙芝居研究会／北部小おはなしの会(45名)。

(11)自主学習会

原則、年10回開催。

学習会名	講師	参加者数
県立文学館 短歌の会	田村 ^{はじめ} 元氏	15名
県立文学館 短歌相互学習会	(歌人、『NHK 短歌』令和3年度選者、『りとむ』編集委員)	14名
県立文学館 俳句学習会	鈴木 ^{しょうわ} 章和氏	14名
県立文学館 翠句会	(俳人、『翡翠』主宰、NHK学園専任講師・NHK ラジオ「文芸選評」選者)	21名
県立文学館 詩の講座	伊藤信一氏 (日本現代詩人会会員、群馬詩人クラブ代表幹事)	8名
県立文学館 絵手紙の会	福田登美恵氏 (日本絵手紙協会公認講師)	7名
県立文学館 古典学習会 源氏物語購読「若紫」を読む	吉永哲郎氏 (源氏物語を読む「蘇芳 ^{すおう} の会」主宰)	74名
合計		153名

(12)広報活動

① 企画展ポスター・チラシ配布

年3回開催する企画展に合わせて、開催の約3週間前に関係機関に配布して広報した。

(配布先)

県内小・中・高等学校・特別支援学校、県内教育機関、県内外博物館・文学館、県内図書館・公民館、県内外報道機関、県内観光施設等

② 「土屋文明記念文学講座チラシ」配布

年2回開催する文学講座に合わせて、開催の約2か月前に関係機関に配布して広報した。

(配布先)

県内外文学館、県内図書館、県内書店、県内外報道機関等

③ 「令和7年度事業案内」配布

年度末に配布して、翌年度の企画展や各種イベント等の事業について広報した。

(配布先)

県内小・中・高等学校・特別支援学校、県内教育機関、県内外博物館・文学館、県内図書館・公民館、県内外報道機関、県内観光施設等

④ 県メディアプロモーション課関係広報

県メディアプロモーション課が所管する広報媒体「ぐんま広報」を通じて、企画展や各種イベント情報について広報した。

⑤ 県内報道機関への PR

県内報道機関に、企画展や講演会などのイベント情報を提供・取材してもらい、新聞等の活字メディアやテレビ・ラジオ等の電波媒体で報道してもらうよう努めた。

(主な報道機関等)

朝日新聞前橋総局、毎日新聞前橋支局、読売新聞前橋支局、東京新聞前橋支局、産経新聞前橋支局、上毛新聞社(ぱれっと編集室、TAKATAI 編集室含む)、桐生タイムス社、日本放送協会前橋放送局、群馬テレビ、FM GUNMA、ラジオ高崎、まえばし CITY エフエム等

⑥ 広報誌掲載

タウン情報誌、月刊情報誌、短歌関連雑誌等の広報誌に情報提供した。

⑦ 刊行物の配布

企画展図録等について、県内教育機関、県内外博物館・文学館、県内図書館等に配布した。

⑧ 公式ホームページ

- ・企画展及び関連行事のお知らせ
- ・イベント、土屋文明記念文学講座等のお知らせ
- ・イベント申込受付、通信販売受付
- ・「特別館長日記」更新
- ・所蔵資料検索

⑨ 公式 Instagram

- ・企画展及び関連行事のお知らせ
- ・イベント、土屋文明記念文学講座等のお知らせ
- ・イベント参加募集告知
- ・学校連携事業の報告
- ・記念日や時候に合わせた「今日の土屋文明短歌」の紹介
- ・投稿件数:109件(企画展77件、常設展10件、特別展示1件、資料・書籍0件、館一般21件)
- ・フォロワー数:685人(令和6年度末現在・令和5年度末から107人増)

⑩ 公式 X(Twitter)

- ・企画展及び関連行事のお知らせ
- ・イベント、土屋文明記念文学講座等のお知らせ
- ・イベント参加募集告知
- ・学校連携事業の報告
- ・記念日や時候に合わせた「今日の土屋文明短歌」の紹介
- ・ゆかりの文学者の命日・誕生日情報など
- ・第124回企画展「文豪・谷崎潤一郎－美を追い求めて」会期中、公式 X(Twitter)開設5周年を記念したリポストキャンペーン
- ・投稿件数：255件(企画展157件、常設展46件、特別展示4件、資料・書籍0件、館一般48件)
- ・フォロワー数：2,124人(令和6年度末現在・令和5年度末から164人増)

⑪ 群馬県公式 YouTube チャンネル tsulunos で動画公開 ※期間限定

- ・加倉井東氏講演 「「風景」の授業」※
- ・中島国彦氏講演 「鷗外と漱石の接点」
- ・グレゴリー・ケズナジャット氏講演 「文化の遠近法 谷崎潤一郎の美学における越境性」
- ・所属紹介動画 「3分でわかる土屋文明記念文学館」

(13)刊行物の発行

種類	名称	規格	部数
図録	第122回企画展 「いちめんのなのはな－教科書で出会った詩人・山村暮鳥－」	A4判 16ページ	700 部
	第124回企画展 「文豪・谷崎潤一郎－美を追い求めて」	A4判 24ページ	900 部
紀要	令和6年度 紀要「風」28号	A4判 48ページ	500 部
ポスター	第122回企画展 「いちめんのなのはな－教科書で出会った詩人・山村暮鳥－」	B2判	350 部
	第123回企画展 「ふしぎ駄菓子屋 銭天堂へようこそ」	B2判	550 部
	第124回企画展 「文豪・谷崎潤一郎－美を追い求めて」	B2判	500 部
チラシ	第122回企画展 「いちめんのなのはな－教科書で出会った詩人・山村暮鳥－」	A4判 両面	25,000 部
	第123回企画展 「ふしぎ駄菓子屋 銭天堂へようこそ」	A4判 両面	83,000 部
	第124回企画展 「文豪・谷崎潤一郎－美を追い求めて」	A4判 両面	28,000 部
	第5回土屋文明記念文学講座 中島国彦氏「鷗外と漱石の接点」	A4判	3,000 部
	第6回土屋文明記念文学講座 町田康氏「パンクと短歌の距離」	A4判	3,000 部
他	令和7年度 事業案内	両観音折り	20,000 部
	常設展示用パンフレット	A5判 16ページ	4,000 部

6 資料収集・調査研究

(1) 資料収集

(令和6年度末現在)

資料区分	購入	寄附	その他(製作等)	6年度合計	収蔵資料合計
特別資料	1	356	2	359	32,284
雑誌・図書	299	918	0	1,217	178,726
視聴覚資料	1	0	0	1	257
6年度合計	301	1,274	2	1,577	
収蔵資料合計	48,526	161,186	1,555		211,267

※合計点数は登録作業済の点数。

◇ 主な購入資料

- ・正岡子規草稿「八千八声 炭俵・続猿蓑」
- ・山村暮鳥著『聖三稜玻璃』並装版
- ・谷崎潤一郎著『痴人の愛』

◇ 主な寄附資料

- ・雑誌『妙義』1巻5号～4巻10号 15点
- ・土屋文明 南青山宅表札
- ・土屋文明短歌色紙「この水を」
- ・「和泉式部日記」写本(複製)
- ・「奥の細道」写本(複製)

(2) 資料の整理・保存管理

① 資料整理

収集した資料等について、調査、登録(資料保存のための装備)、画像データ化(スキャニング・写真撮影を含む)などの作業を行った。

② 保存管理

◇ 施設燻蒸

虫菌害防止対策として、収蔵施設(①収蔵庫・書庫)と展示施設(②常設展示室・③企画展示室)の燻蒸を3年に一度実施している(年1回)。

本年度は、収蔵施設(収蔵庫・書庫)の燻蒸を実施した。

◇ 資料燻蒸

令和6年度6月までに収蔵した資料については、施設燻蒸のときに合わせて実施した。

◇ 日常管理

書庫、展示室の状況について、毎日(朝・夕)見回りして確認している。

収蔵庫・書庫、展示室の温湿度計の計測記録について、週に1回確認している。

◇ 資料修理

雑誌『三田文学』4点、雑誌『高原』2点、松尾芭蕉俳句短冊幅「名月や」の修理を行った。

(3)資料貸出

次の2件152点の資料について、借用の申請に基づき貸出を承認した。

貸出資料名	展覧会名	開催期間	展示会場(施設名等)
雑誌『女学雑誌 文学界』、雑誌『それいゆ』など(143点)	市政施行90周年記念 夢みる女性誌展	7/13～9/16	市川市文学ミュージアム
山村暮鳥葉書花岡謙二宛など (9点)	生誕140年・没後100年記念 山村暮鳥と大洗～おうい雲よ～	10/12～12/17	大洗町 幕末と明治の博物館

※移動展の資料貸出を除く。

7 利用案内・位置図

(1)開館時間

午前9時30分から午後5時まで(観覧受付は午後4時30分まで)

※ただし第1～第3研修室及び和室は午前9時30分から午後9時まで

(2)休館日

- ① 火曜日(祝日の場合は翌日、4月29日から5月5日までの間及び8月15日を含む週を除く)
- ② 年末年始(12月27日から翌年1月4日まで)
- ③ 企画展前後の展示替期間
- ④ 燻蒸などの臨時休館日

(3)観覧料

・常設展 一般200円、大高生100円

・企画展 一般500円、大高生250円

第123回企画展「ふしぎ駄菓子屋 銭天堂へようこそ」 一般700円、大高生350円

※20名以上の団体は2割引

※中学生以下、障害者手帳等をお持ちの方と介護者1名、群馬県民の日(10月28日)は無料

(4)施設利用料

文学関係行事等に利用できる。

区分		午前	午後	夜間	1日
		9:30～12:30	13:00～17:00	17:00～21:00	9:30～21:00
施設	企画展示室	2,640円	3,550円	—	6,190円
	第1研修室	1,160円	1,540円	1,540円	4,240円
	第2研修室	1,160円	1,540円	1,540円	4,240円
	第3研修室	1,160円	1,540円	1,540円	4,240円
	和室	610円	830円	830円	2,270円

※付属設備を使用する場合は、別に利用料が必要。

(5)位置図



※駐車場 約60台

※公共交通機関

① バス

- ・高崎駅西口2番乗り場から群馬バス「^{しんとうむら}しんとう温泉・榛東村役場」行→「^{ほとた}保渡田」下車
- ・前橋駅北口5番乗り場から関越交通バス「土屋文明文学館」行→終点「土屋文明文学館」下車

② タクシー

- ・高崎駅西口から約20分
- ・高崎問屋町駅西口から約15分
- ・新前橋駅西口から約15分